

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00517)

事務事業名称	社会教育委員	款	07	項	04	目	01	事業	001	整理番号	499	
現担当課名	生涯学習推進課	係名	管理係			連絡先電話番号	1665		昨年度整理番号	504		
上位施策No・施策名	25 生涯にわたる学びの支援					予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成元年度											
令和 5年度担当課名	生涯学習推進課					事業評価区分	一般					

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	社会教育関係施設及び社会教育関係団体・指導者等区民	根拠法令等	(1)	社会教育法第15～18条
			(2)	杉並区社会教育委員の設置に関する条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	社会教育関係団体への補助金交付に対する意見を述べたり、諮問に応じた答申や、調査・研究をもとに提言などを教育委員会に対して行うことにより、社会教育活動の向上、活性化を図る。	活動指標	指標名 (1)	会議開催回数
		指標説明	指標名 (2)	延べ会議出席委員数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験者等合計9名以内で構成し (任期2年)、社会教育の振興のための調査・研究などの活動を行い、必要に応じ教育委員会に対して答申や提言などを行う。	成果指標	指標名 (1)	NPO法人認証団体数
		指標説明	指標名 (2)	「社会教育の推進」と「学術・文化・芸術又はスポーツの振興」の分野に関わるNPO法人認証団体数【社会】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 回	5	6	5	6	5	6	83.3	72.7
活動指標 (2)	2 人	44	54	42	54	41	54	75.9	
成果指標 (1)	3 団体	317	350	312	350	305	350	87.1	
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	780	972	762	1,048	762	980	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	9,471	9,471	9,474	4,991	6,529	6,697	会議開催数及び出席者数の実績により、委員報酬が執行残となりました。また、託児費用を計上していましたが、該当する委員がいなかったことから執行残となりました。
	上記以外の職員	7 千円	3,308	3,308	3,310	3,310	3,426	2,665	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	13,559	13,751	13,546	9,349	10,717	10,342		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	13,559	13,751	13,546	9,349	10,717	10,342	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 499

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	社会教育委員報酬の支出 (延べ人数)	41	人	481
	社会教育委員の会議録作成委託	10	時間	245
	その他 (資料等の郵送、消耗品の購入)			36
取組成果	<p>第17期社会教育委員の会議では、令和5年6月、任期2年の検討結果を「一人ひとりが自分らしく生きられる杉並を目指して - 学び合いを支える社会教育士の意義と役割」としてまとめました。</p> <p>また、第17期社会教育委員の任期満了に伴い、第18期社会教育委員を新たに委嘱しました。社会教育委員9名のうち、新たに委嘱した委員は3名です。会議では、社会教育活動への支援のあり方について協議しました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>制度発足以来、社会教育委員の会議では、社会教育関係団体への補助金交付に対する意見を述べるほか教育委員会からの諮問に応じて答申や提言を出すなど、区の社会教育をめぐる課題や状況を踏まえ、社会教育活動の振興を図るための方向性や方策について協議してきました。</p> <p>社会教育委員が揃って出席できる会議設定や運営方法等を工夫し、活発な議論を継続していくことで、今後も区民一人ひとりの学びや豊かな社会教育活動への支援につながるよう検討を行っていきます。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>概ね隔月で会議を開催し、検討課題について協議を重ねてきており、第18期のまとめ作成に向け、計画通り年6回開催する見通しです。</p>
事業の方向性・改善策	<p>第18期杉並区社会教育委員の会議の任期は令和7年6月9日までです。任期中の議論を整理してまとめを作成し、ホームページで公表します。また、これに伴い、新たに委員を委嘱し、第19期社会教育委員の会議を発足し、新たなテーマで社会教育の振興を図る議論を行います。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	任期満了に伴い、保育が必要な場合に備えて託児委託の経費を計上します。	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00519)

事務事業名称	社会教育の振興				款	07	項	04	目	01	事業	003	整理番号	500	
現担当課名	生涯学習推進課		係名	管理係		連絡先電話番号	1662		昨年度整理番号	505					
上位施策No・施策名	25 生涯にわたる学びの支援								予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成 8年度	実行計画事業	目標 07	施策 25	計画事業 01	主要事業（区政経営報告書掲載事業）									
令和 5年度担当課名	生涯学習推進課								事業評価区分	一般					

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	社会教育活動を行う個人及び団体	根拠法令等	(1) 杉並区教育委員会後援等名義使用承認事務取扱要綱 (2) 杉並区生涯学習活動の指導者傷害保険取扱要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	社会教育士を育成し、地域での学びを支援する。区民の生涯学習活動の活性化と、社会教育関係団体の活動を支援するとともに、区内の高等教育機関と行政や地域との連携協働を推進する。次世代を担う子どもが、名寄市での自然交流体験を通して、健やかに成長することができるように支援する。	活動指標	生涯学習活動指導者傷害保険加入指導者数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	地域での学びを支援する社会教育士を育成する。教育委員会後援等名義使用承認により、社会教育関係団体の活動を支援する。区と区内高等教育機関 (明治大学・高千穂大学・女子美術大学・東京立正短期大学・東京女子大学) との包括協定に基づき、連携協働を推進する。生涯学習活動指導者傷害保険への加入促進により、団体指導者等の活動を支援する。交流自治体である北海道名寄市に小学5・6年生を派遣するほか、天文台車を招き観望会を開催する。	指標説明	生涯学習活動指導者傷害保険加入指導者数
		指標説明	区内大学との連携協働推進協議会等開催回数
		成果指標	生涯学習活動の指導者傷害保険加入団体会員数
		指標説明	生涯学習活動の指導者を対象とした傷害保険に加入する団体の会員数【行政】
		指標説明	教育委員会後援等名義使用承認事業数
		指標説明	教育委員会後援等名義使用について承認した事業数【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 人	2,934	4,000	2,816	4,000	2,995	4,000	74.9	74.6
活動指標 (2)	2 件	2	5	1	5	2	5	40.0	
成果指標 (1)	3 人	52,752	70,000	52,076	70,000	51,542	70,000	73.6	
成果指標 (2)	4 件	90	150	100	150	113	150	75.3	
事業費	5 千円	3,563	7,665	4,674	9,658	7,209	8,962	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	15,013	15,513	16,635	20,795	22,183	20,928	・小学生名寄自然体験交流の航空機運賃早割利用による経費削減等により、予算が執行残となりました。 ・小学生名寄自然体験交流の天文学習を本事務事業に移管したことにより事業費が増となりました。
	上記以外の職員	7 千円	2,940	2,940	2,942	2,942	3,046	3,426	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	21,516	26,118	24,251	33,395	32,438	33,316		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	21,516	26,118	24,251	33,395	32,438	33,316	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 500

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	社会教育士の資格取得者	1	人	0
	小学生名寄自然体験交流の児童派遣	25	人	4,539
	移動式天文台車による観望会等開催	2,785	人	1,495
	生涯学習活動を行う指導者を対象とした傷害保険料の支出	2,995	人	523
	その他 (通知等の郵送、消耗品の購入ほか)			652
取組成果	<p>社会教育士の育成では、教育委員会事務局職員1人が文部科学省主催の講習会で全科目を受講し、これまでに資格を取得した職員は計10人となりました。</p> <p>小学生名寄自然体験交流では、新雪の林の中を歩くスノーシュートレッキングなど、真冬の名寄市だからこそ得られる体験や現地の子どもたちとの交流を通じて、児童の探求心や豊かな人間性を育みました。また、名寄市立天文台「きたすばる」から移動式天文台車ポラリス2号を招き、区内の小学校等で観望会を実施しました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>社会教育士は着実に増えているものの、対象者は教育委員会事務局内にとどまっています。社会教育士が防災や福祉など様々な分野においても通じるスキルであることから、資格取得の対象を他分野にも広げていくことが重要です。また、地域で活動する区民が本資格を取得することで、さらに地域での活躍の場が広がるよう、社会教育士に関する理解促進や資格の取得方法等について周知を進めていく必要があります。</p> <p>小学生名寄自然体験交流は、児童の学習成果を広く区民に伝えることができるよう、成果発表会の会場選定を工夫したほか、周知等を進め次世代育成基金寄附者にも成果発表会を見学いただきました。また、参加児童が所属校での発表を行うことで、自らの経験を広く伝える取組が広がっています。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>指導者傷害保険は、加入団体の会員数や指導者数が高齢化等により減少傾向にある中で、本事業が区民の生涯学習活動の支えとなるよう、周知方法の工夫などの検討が必要です。</p> <p>区内大学等との連携協働事業では、この間、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、区民の生涯学習の支援につながるような取組を積極的に推進することができませんでした。今後は、広く区民が区内大学と関わりを持つことができ、多くの学びの機会につながるような情報発信等を含めた取組を、連携協働推進協議会を通して、協議・具体化を図っていく必要があります。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>社会教育士の育成については、教育委員会事務局職員2人が講習を受講しています。</p> <p>小学生名寄自然体験交流事業は、11月に結団式を行い、事前学習を経て12月26日から28日にかけて名寄市を訪問した後、2月に成果発表会を予定しています。</p> <p>指導者傷害保険は、7月末時点で2,824人となっており、前年度よりやや減少傾向にあります。引き続き、団体等に向けて周知を進めていく必要があります。</p> <p>区内大学等との連携協働事業では、大学との協議を進め、区民の学びが広がる情報紙の発行に向けて取組を進めています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>引き続き教育委員会事務局内での社会教育士資格取得者を増やすとともに、資格取得者を他分野の職員や地域で活動する区民にも広げていくため、社会教育士に関する理解促進や資格の取得方法等について周知を行います。</p> <p>小学生自然名寄交流事業は、子どもたちが現地での学びを深めることができるよう、引率の先生方や名寄市の協力を得て、事前学習会や派遣中のプログラムを工夫しています。また、学習成果を区民や他の子どもたちにも還元できるよう、成果発表会の開催に加え所属校での発表も促していきます。</p> <p>区内大学等との連携協働事業では、協議会で積極的に各大学の情報交換が行われているほか、各課の事業を大学と共有することで、区の取組を広く周知する機会としても活用しています。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>社会教育士の育成は、職員の資格取得や研修に係る経費を計上します。</p> <p>小学生自然名寄交流事業及び区内大学等との連携協働は現状予算で、各校の取組や活動状況等を見ながら、適正な規模で事業を実施していきます。</p> <p>指導者傷害保険は現状予算で、周知方法を工夫していきます。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00522)

事務事業名称	地域教育力の向上				款	07	項	04	目	01	事業	006	整理番号	503
現担当課名	学校支援課		係名	家庭・地域教育担当係			連絡先電話番号	1648		昨年度整理番号	508			
上位施策No・施策名	25 生涯にわたる学びの支援								予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成11年度	実行計画事業	目標	07	施策	25	計画事業	03	主要事業（区政経営報告書掲載事業）					
令和5年度担当課名	学校支援課								事業評価区分	一般				

令和5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	地域教育連絡協議会及び地域教育推進協議会 保護者及び地域住民等	根拠法令等 (1) (2)	地域教育連絡協議会共催分担金支給要綱 杉並区地域教育推進協議会共催分担金交付要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	青少年教育振興のため、家庭・地域・学校の連携の場を創出する。 家庭教育講座を通して、保護者等が自らの学びの場をつくり、子どもの成長について理解を深めたり、教育に関する課題を共有し、解決の糸口を探る場を創出する。	活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)	地域教育連絡協議会及び地域教育推進協議会 開催事業回数 中学校区地域を主体とした活動量 家庭教育講座及び家庭教育フォーラムの開催回数
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	中学校区を中心に組織された地域教育連絡協議会及び地域教育推進協議会において、懇談事業や子ども地域活動促進事業等を実施する。また、事務局となる青少年委員自身が必要とする知識の習得と情報の共有化を進めるための研修会等を実施する。子育てで感じる課題等について、大人が自ら学んで考える場として家庭教育講座を開催する。また、講座主催者や子育て支援者等の連携を図るために家庭教育フォーラムを開催する。	成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明	地域教育連絡協議会及び地域教育推進協議会 開催事業への参加者 中学校区地域を主体とした活動への区民参加意欲の涵養【社会】 家庭教育講座及び家庭教育フォーラムの参加人数 保護者等を対象とした学習機会への区民参加意欲の涵養【社会】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度	令和5年度	令和5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率 (%)
活動指標(1)	1 回	51	83	196	83	260	103	313.3	81.1
活動指標(2)	2 回	4	21	8	21	9	18	42.9	
成果指標(1)	3 人	8,539	19,500	12,321	19,500	17,660	19,500	90.6	
成果指標(2)	4 人	159	1,590	380	1,590	500	1,590	31.4	
事業費	5 千円	7,259	10,977	8,198	11,382	9,227	10,725	特記事項	
人件費	常勤職員分(再任用含)	6 千円	18,605	16,686	18,716	16,636	21,597	25,113	青少年委員人数、家庭教育講座等の分担金減に伴う残。 青少年委員制度発足70周年による事業費増
	上記以外の職員	7 千円	3,675	3,675	3,678	3,678	3,807	3,807	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	29,539	31,338	30,592	31,696	34,631	39,645		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
差引：一般財源 (8-12)	13 千円	29,539	31,338	30,592	31,696	34,631	39,645		

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 503

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	青少年委員報酬の支出	41	人	3,920
	地域教育連絡協議会開催のための分担金の支出	19	校区	953
	地域教育推進協議会開催のための分担金の支出	4	地区	1,773
	家庭教育講座 (主催・共催) の開催	9	回	1,005
	その他 (運営事務費 (通信費、消耗品の購入ほか) の支出)			1,576
取組成果	<p>青少年委員は、家庭・地域・学校をつなぐパイプ役として、23校の中学校区地域ごとにおおむね2名、合計41名の配置ができました。地域の教育力を高めるために、青少年委員が事務局となり、中学校区で組織した地域教育連絡協議会 (地教連) は19校区、その地教連を発展させた地域教育推進協議会は4地区で開催し、子どもたちの生きる力を育む環境を整えました。また、令和5年度は青少年委員制度発足70周年を記念して、記念誌を発行しました。</p> <p>なお、家庭における教育力向上を支えるために、家庭教育講座は9回開催しました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>基本構想や杉並区教育ビジョン2022では、「区民の多様な交流・体験・学習活動やコミュニティ活動を一層推進する」ことが求められています。青少年委員等が事務局を担い各中学校区地域で取り組まれている地域教育連絡協議会やその取組を発展的に継承している地域教育推進協議会においても、身近な地域における新たな「つながりづくり」の機会として期待する声も大きいです。一方、コロナ禍を経て自らの団体の活動見直しを図っているPTAなど既存団体の中には、他の団体や新たな人たちとの「つながりづくり」を負担に感じている様子もみられます。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>共働き家庭の増加に合わせてPTAの担い手が少なくなっている中、PTAをきっかけに地域での教育支援活動に携わる人材も減り、青少年委員が他組織の委員役員を何役も担うことになりその負担や今後の手が少なくなることが懸念されます。</p> <p>家庭教育講座については、コロナ禍と比べて開催数が増加しています。地域での自主的な学びの場が広がるように、共催分担金の支給や周知の支援を行いました。家庭教育フォーラムは、共催申請が年度後半に集中したため団体を集めての開催ができませんでした。各団体の講座の開催方法の工夫や家庭教育に関する情報を共有するため、開催時期や内容を検討し、家庭教育講座を主催する方々が学び合う機会とする必要があります。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>青少年委員の各地域での活動を支えるため教育委員会主催の定例会議や研修を実施しました。それにより青少年委員が事務局を担う地域教育連絡協議会等の円滑な運営に繋げ、また、協議会に共催分担金を支給することで各地域での多様なテーマの懇談や子どもたちの地域活動を促進する事業、地域の教育的課題に対応する事業を行っています。家庭教育については、教育委員会主催の講座を3回開催する予定です。地域団体主催の講座は既に5団体に共催を承認し、分担金の支給、広報紙への掲載や小中保護者へのチラシデータの配信を行っています。それにより地域で保護者が学ぶ機会を提供しました。家庭教育フォーラムではそうした講座を開催している団体が学びの贈り合いができる内容で実施する予定です。年度末の予算執行は概ね80%を見込んでいます。</p>
事業の方向性・改善策	<p>地域の多様な主体が連携し子どもの育成に係る課題解決に向けて取り組む地域教育推進協議会等の活動を支援するとともに、事務局である青少年委員のモチベーション及び資質の向上を図ります。また、今後は地域の多様な主体が連携して学校の教育活動を支援する学校支援本部とともに、地域全体で子どもの育成や教育に関わる課題を解決する体制づくりの検討に取り組みます。</p> <p>家庭教育講座については、保護者の関心が高いテーマを設定し実施します。また、地域団体等が自ら企画・運営する講座の主催団体に対して、引き続き必要な支援を行います。家庭教育フォーラムについては、家庭教育講座の主催者や子育て支援者等が連携を図り、地域で取り組む活動に役立つような情報や意見を交換し学び合う場としていきます。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>地域教育連絡協議会等については、それぞれの協議会が各構成団体等と連携を図り、発展していけるよう、引き続き運営の支援を行います。さらに、協議会運営の要となる青少年委員に対しても企画力や実行力向上につながる実践的な研修を行っていきます。</p> <p>教育委員会が主催する家庭教育講座によって、家庭教育について誰もが気軽に学べる場を提供します。また、学んだことを共有し、学びを深めるための場を自ら作ろうとする団体に対して、共催分担金支給等の支援を行います。家庭教育フォーラムについては、子育てに関する教育関係団体にも呼び掛けを行い、実施します。こうした家庭教育講座や家庭教育フォーラムを実施することにより、子どもの健やかな育成に大きな役割を担う家庭教育支援の充実を図っていきます。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00697)

事務事業名称	次世代型科学教育の推進				款	07	項	04	目	01	事業	014	整理番号	506
現担当課名	生涯学習推進課			係名	社会教育センター			連絡先電話番号	4712		昨年度整理番号	511		
上位施策No・施策名	25 生涯にわたる学びの支援							予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成27年度	実行計画事業	目標	07	施策	25	計画事業	02	主要事業（区政経営報告書掲載事業）					
令和 5年度担当課名	生涯学習推進課							事業評価区分	一般					

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区内在住・在学の児童・生徒、一般区民、区内団体	根拠法令等 (1) (2)	教育基本法第12条
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	広く子どもから大人まで科学に親しみ、科学に関する多様な体験や触れ合う機会を地域に出向いて提供する。交流自治体や区民、NPO、民間事業者等との協働により、相互のつながりやかかわり合いを促進する。ICTやデジタル技術などを活用した次世代型の科学教育を推進する。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	科学講座等開催回数 委託事業における科学講座・科学展示等の開催回数 サイエンスフェスタの出席団体数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	移動式プラネタリウムの投影や、北海道名寄市との協働で天文台車による観望会を実施する。最新の科学にふれる展示会や、区内の科学教育関係団体・企業・学校等で構成する実行委員会による「サイエンスフェスタ」を開催する。科学に関する講座・講演会や、小中学生を対象にした夏休み科学講座「フューチャーサイエンスクラブ」を実施する。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	科学講座等参加者数 委託事業のうち科学講座、科学展示等の参加者数【行政】 すぎなみサイエンスフェスタの参加者数 すぎなみサイエンスフェスタにおける会場及びオンライン参加者の合計数【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 回	27	25	45	52	48	48	92.3	96.7
活動指標 (2)	2 団体	15	26	17	26	17	26	65.4	
成果指標 (1)	3 人	2,108	1,800	5,895	1,800	7,467	7,000	414.8	
成果指標 (2)	4 人	927	1,500	1,110	1,500	1,555	1,500	103.7	
事業費	5 千円	3,940	13,516	7,374	19,500	18,865	19,500	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	12,515	12,515	14,557	12,473	13,839	14,400	・活動指標 (1) の目標値が適切でなかったため、令和6年度の目標値を修正しました。 ・前年度に成果指標 (1) を変更したにも関わらず、計画値を変更しなかったため、実績値との間に差が生じています。 ・新型コロナウイルス感染症前の実施規模に戻したことから事業費が増となりました。
	上記以外の職員	7 千円	5,513	6,615	5,517	6,620	6,472	6,853	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	21,968	32,646	27,448	38,593	39,176	40,753		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	21,968	32,646	27,448	38,593	39,176	40,753	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 506

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	科学講座等業務委託	7,467	人	16,500
	サイエンスフェスタの実施	1,555	人	2,365
	その他 ()			
取組成果	<p>イマジナス運営事業者へ区民に身近な地域の施設で行う出前型の科学講座や科学展示等の委託を開始し、これまでの取組の成果に加え、民間事業者の専門性を生かすことができるよう、委託事業者と協議・調整を行いながら進めました。夏休み科学教室では解剖実習コースを設けるなど学校教育では体験できない学びを実施したほか、科学展示では、来場者が主体的に学ぶことができるよう参加型・体験型展示とした「謎×解どうぶつ展」、「動かすチカラ～鉄道と科学」を開催しました。このほか、3月に開催したサイエンスフェスタでは1,500人を超える区民が来場し科学に親しみました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>委託事業者との連携により、科学教育事業全体の来場者数が、昨年度に対し約25%増加しました。今後も、科学のすそ野を広げるため、特定の年齢層だけでなく未就学児や高齢者など様々な世代の参加者数が増えるよう、企画内容や広報活動を工夫するなど、多様なアプローチが必要です。</p> <p>サイエンスフェスタは、17団体25ブースの出店があり、地域の科学団体相互の連携を深めることができ、サイエンスフェスタのプログラムを充実させていくことはもとより、地域で活動する科学団体を増やすためにも、区と科学団体、イマジナス運営事業者の三者が一層連携し、新たな人材の発掘や育成に取り組んでいくことが重要です。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>小学校5・6年生と中学生向け夏休み科学講座は、7日間で延べ559名が参加しました。6月から開催している天文講座は、8月末時点で12日間46回実施し、延べ1,052名が参加しました。</p> <p>科学講座等の内容は区とイマジナス運営事業者が連携して多様な世代が参加しやすい企画となるよう工夫を重ねた結果、様々な世代が参加しています。引き続きイマジナス運営事業者と連携を図りながら、区民に魅力ある科学講座等となるよう努め予定通り実施していきます。サイエンスフェスタについては、令和7年3月に実施を予定しています。</p> <p>令和6年度の事業は予算内にて遂行可能の見込みです。</p>
事業の方向性・改善策	<p>イマジナス運営事業者や科学団体等と引き続き連携を図りながら次世代型科学事業を推進していきます。これにより区民の科学に対する広範で多様な興味関心を引き出していきます。一方で、令和5年度に比べて参加者が減少している企画も一部あることから、減少した要因を分析した上で企画内容や広報活動等を改善していきます。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>令和6年度からの委託規模を維持しつつ、広く区民が参加できるように企画内容、広報活動等の改善を進め、区内全域での科学教育事業の普及に尽力します。また、事業の実施結果をよく分析・検証して、より効果的・効率的な事業執行や施設の有効活用が図れるよう運営事業者との連携を進めます。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00840)

事務事業名称	社会教育事業の運営				款	07	項	04	目	01	事業	015	整理番号	507	
現担当課名	生涯学習推進課		係名	社会教育センター		連絡先電話番号	4712		昨年度整理番号	512					
上位施策No・施策名	25 生涯にわたる学びの支援								予算事業区分	既定事業					
事業開始	昭和26年度	実行計画事業	目標	07	施策	25	計画事業	02	主要事業（区政経営報告書掲載事業）						
令和 5年度担当課名	生涯学習推進課								事業評価区分	一般					

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	<ul style="list-style-type: none"> ○区内在住、在勤、在学者 ○各種社会教育団体 	根拠法令等	(1) 社会教育法第3条、第5条及び第13条 (2) 杉並区立社会教育センター条例 ほか
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	<ul style="list-style-type: none"> ○区民や関係団体に対して、主催事業や共催事業等として生涯学習や文化・芸術活動への参加機会を提供し、「個人の主体的な学び」や関係団体の活動の活性化等を支援する。 	活動指標	成人学習支援事業における実施講座数
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	<ul style="list-style-type: none"> 各種の社会教育学級、講座、展示会その他の社会教育事業を実施する。 ・成人学習（すぎなみ大人塾、すぎなみU30ミーティング等） ・社会教育団体協働事業（杉並区文化団体連合会、杉並区総合文化祭、大学公開講座、ユネスコ活動事業） ・社会参加支援（済美教室、にほんご教室） ・社会教育士の活用 	指標名（ 1 ）	すぎなみ大人塾、すぎなみU30ミーティング等成人学習支援のために実施する講座数
		指標説明	社会教育団体協働事業における実施講座数
		指標名（ 2 ）	大学公開講座、ユネスコ活動
		成果指標	成人学習支援事業における延べ参加者数
		指標説明	すぎなみ大人塾、若者対象講座等成人学習支援事業への延べ参加者数【行政】
		指標名（ 2 ）	社会参加支援事業における延べ参加者数
		指標説明	社会参加支援事業における延べ参加者数【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 講座	5	4	4	4	4	4	100.0	70.5
活動指標 (2)	2 講座	13	36	33	36	28	36	77.8	
成果指標 (1)	3 人	383	400	514	400	904	700	226.0	
成果指標 (2)	4 人	616	900	595	900	1,360	1,400	151.1	
事業費	5 千円	3,838	8,803	5,653	15,159	10,684	16,016	特記事項	
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	42,378	43,384	50,074	50,735	47,677	45,722	<ul style="list-style-type: none"> ・成人学習支援事業では、改修後のセッション杉並で実施したため、会場使用の経費が執行残となりました。 ・社会参加支援事業や社会教育団体協働事業では、新型コロナウイルス感染症対策を継続したため、事業費に執行残が生じました。 ・4年ぶりに杉並区総合文化祭を開催し共催分担金を支出したため、事業費が増加しました。
	上記以外の職員	7 千円	16,538	15,435	16,551	15,448	14,467	15,228	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	62,754	67,622	72,278	81,342	72,828	76,966		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
差引：一般財源 (8-12)	13 千円	62,754	67,622	72,278	81,342	72,828	76,966		

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 507

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	成人学習 (すぎなみ大人塾、すぎなみU30ミーティング等)	4	講座	3,028
	社会教育団体協働事業 (文化団体連合会補助、区内5大学公開講座等)	4	事業	5,397
	社会参加支援 (済美教室12回、にほんご教室3期計120回)	2	事業	1,531
	社会教育士の活用 (学び合いのワークショップ1回、スキルアップ講座1回)	1	事業	79
	その他 (社会教育事業運営のための消耗品の購入等)			649
取組成果	<p>成人学習では、すぎなみ大人塾3コースの実施により、受講生の自主的な活動につなげるとともに、30歳以下を対象とした新たな事業を開催しました。社会教育団体協働事業では、各団体の自主的な活動を支援し、区との協働事業を実施することにより、区民の生涯学習や文化・芸術活動への参加促進を図りました。社会参加支援事業では済美教室、にほんご教室ともに安全確保に留意しつつゆるやかに規模の回復に努め、令和4年度の参加者数を超えました。社会教育士の活用では、ワークショップと講座を1回ずつ行い、社会教育士等の活動を豊かにする機会をつくりました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>成人学習に関しては、区民の方々が主体的な学びをきっかけに地域参画していくために、どのような支援をしていくことが効果的なのか、引き続き検討していく必要があります。事業参加者数は増加傾向ですが、さらなる裾野の拡大に向け、これまで情報を届けられなかった層への周知方法の検討も必要です。社会教育団体協働事業については、団体の自主性を尊重しながらも、新型コロナウイルス感染症の影響により減少していた活動の幅を広げる各団体に対し、区民ニーズを捉えた事業となるよう支援していく必要があります。社会教育士の活用については、事業実施初年度であり、区内の社会教育士や社会教育士に類する人のつながりをつくるきっかけができましたが、より多くの方が社会教育士に関心を持ってもらうためにどのような取組が求められるかを把握する必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>社会参加支援 (済美教室・にほんご教室) については、新型コロナウイルス感染症の影響により減少していた参加者の受け入れの拡大と合わせて、安心・安全の講座運営を前提として参加者にとってより魅力的な講座となるよう検討する必要があります。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>成人学習では、4講座中3講座に定員を超える申込がありました。ユネスコ協会や文化団体連合会等の社会教育関係団体とは、共催事業等を円滑に実施できるよう緊密な連携を図ってきました。社会参加支援事業である済美教室は、昨年度に比べて参加者受入数・講座の種類を増やして実施し、にほんご教室は、昨年度に続いてオンラインと対面で実施するなど、受講生・参加者等のニーズに対応して事業を実施しています。社会教育士の活用を進める事業には、様々な分野・世代の参加があり、新たな参加者の掘り起こしにつなげることができました。また、昨年度の参加者とともに今後の講座等の内容を企画しています。令和6年度は予算内で執行できる見込みです。</p>
事業の方向性・改善策	<p>成人学習は、昨年度と同じ構成で開催していますが、学習ニーズや参加者の声を把握しながら、今後の4講座のプログラムや地域展開のあり方等を検討していきます。</p> <p>社会教育団体協働事業や社会参加支援等の事業は、団体の自主性を尊重しつつ団体等と対話を積み重ねて円滑・安全に実施するとともに、特に社会教育団体間等での交流と区民の新たな参加が促進されるように努めながら実施します。</p> <p>社会教育士の活用では、学び合いのワークショップとスキルアップ講座の実施結果を踏まえ、令和7年度から始める新たな社会教育活動の支援に向けて準備を進めます。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>増大する区民の多様な学習ニーズに的確に応えていくため、各種社会教育事業について、地域団体や学習支援者等との意見交換・懇談を行いつつ令和6年度から精力的に事業内容や実施方法等の見直し・改善を進めているところです。「杉並区教育ビジョン2022」の基本方針の一つである「一人ひとりの生きがいにつながる生涯にわたる学びを支援」するために、令和6年度の事業規模を維持しつつ事業実績・事業効果をよく検証して引き続き事業内容、実施方法、周知方法等の改善に努めます。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00529)

事務事業名称	社会教育センター維持管理			款	07	項	04	目	02	事業	001	整理番号	508
現担当課名	生涯学習推進課		係名	社会教育センター			連絡先電話番号	4712		昨年度整理番号	513		
上位施策No・施策名	25 生涯にわたる学びの支援							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成元年度												
令和 5年度担当課名	生涯学習推進課							事業評価区分	施設維持管理				

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	社会教育センター利用者	根拠法令等	(1) 社会教育法第3、5条 (2) 杉並区立社会教育センター条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	区民の学習の場として、安全で快適に活動できる施設として良好な環境を維持し利用者に提供する。	活動指標	指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	利用者に対し、社会教育の学習の場を提供するとともに、一般区民の利用施設として快適で安全な環境を図るため、修繕を含めた施設の適正な維持及び管理を行う。	成果指標	指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1								99.0
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	25,920	13,639	4,617	115,251	114,115	117,835		特記事項 令和4年度は仮移転先で執務を行っていましたが、令和5年8月1日にセッション杉並がりリニューアルオープンしたため事業費増となりました。
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	8,997	3,337	3,327	3,327	3,181	3,374	
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	34,917	16,976	7,944	118,578	117,296	121,209		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
差引：一般財源 (8-12)	13 千円	34,917	16,976	7,944	118,578	117,296	121,209		

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 508

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	セシオン杉並の管理運営(指定管理者)			113,269
	その他 (修繕、印刷機賃貸借等)			846
取組成果	大規模改修工事を行っていたセシオン杉並が令和5年8月1日にリニューアルオープンし、新たに指定管理者を導入しました。また、指定管理者と杉並区(社会教育センター、高円寺地域区民センター、高円寺区民事務所)の間で、月1回定例の会議を開催し、施設の利用状況の情報共有や管理・運営に関する課題等の情報交換を行っています。			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	社会教育センターの維持管理については、指定管理者による指定管理料として、地域課へ予算を執行委任しました。施設の一年目点検により、施設利用上支障が生じている箇所については、予算の範囲内で修繕を行う予定です。また、視覚障害者が安心してセシオン杉並を利用できるよう区立施設で初めてコード化点字ブロックを設置しました。
事業の方向性・改善策	リニューアルオープン以降、指定管理者は円滑に施設の管理運営を行っていますので、引き続き区と指定管理者の緊密な連携のもと、適正かつ円滑な施設運営に努め、利用者の利便性向上に努めます。

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	今後とも、指定管理者と緊密な連携を図りつつ、利用者の利便性の維持向上に努めていきます。	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00530)

事務事業名称	郷土博物館の維持管理			款	07	項	04	目	02	事業	002	整理番号	509
現担当課名	生涯学習推進課		係名	郷土博物館			連絡先電話番号	3317-0841		昨年度整理番号	514		
上位施策No・施策名	25 生涯にわたる学びの支援							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成元年度												
令和 5年度担当課名	生涯学習推進課							事業評価区分	施設維持管理				

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	博物館利用者	根拠法令等	(1) 博物館法 (2) 杉並区立郷土博物館条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	歴史・文化資料を適切な状態で保存・展示し、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を維持する。	活動指標	
		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	
		指標説明	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	本館、分館、松ノ木遺跡、館外収蔵庫2か所の維持管理を行う。	成果指標	
		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	
		指標説明	

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度対計画比 (%)	令和 5年度予算執行率 (%)
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画		
活動指標 (1)	1								91.8
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	37,334	44,435	43,238	45,669	41,911	46,041	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	8,510	8,343	8,401	8,318	7,701	8,371	
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	45,844	52,778	51,639	53,987	49,612	54,412		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	45,844	52,778	51,639	53,987	49,612	54,412	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 509

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	施設の保守管理委託 (電気機械設備等保守点検、清掃等建物管理、植栽管理)	2	館	29,585
光熱水費の支出	2	館	8,475	
施設の維持管理 (機器リース、消耗品管理等)	2	館	2,578	
施設の整備 (一般修繕)	2	館	1,273	
その他 ()				
取組成果	<p>館の運営に不可欠な清掃業務、各種機器設備保守点検、燻蒸作業等を委託により実施しました。また、空調機の水漏れ修繕や、経年劣化により性能が落ちている空調室内機の洗浄や部品交換を行った他、高木の強剪定を実施しました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>館の維持運営に不可欠な清掃業務、各種機械設備保守点検等を委託により実施しています。また、今年度予定していた作業員控室ルームエアコンの交換や長屋門の修繕、古民家の壁面修理、自動火災報知機設備の交換、覗きケースの修理、分館の非常照明の交換などを終えました。緊急対応として、雨水槽フロートスイッチ交換修理を行いました。8月末時点での予算執行率は約78%です。年度後半では、本館の非常照明交換を予定しており、引続き各種整備・点検等を行い、安定した館の運営に努めます。</p>
事業の方向性・改善策	<p>館の維持運営に不可欠な各種整備・点検等委託を実施するほか、館外収蔵庫で暫定活用としている旧若杉小収蔵庫については、今度の安定的な移転先の確保に向けて関係課と調整を進めるとともに、収蔵資料の棚卸を行い資料の適正化を図ります。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>機器故障や雨漏り等の施設の傷みに対しては、老朽化に伴い点検時に修理の必要性を指摘されることや、突発的な修理対応をとらなければならないことが増えています。引続き適切な修繕に努めるとともに、築40年目を目安とした長寿命化改修の実施に向けて検討を進めます。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00821)

事務事業名称	旧杉並第四小学校維持管理			款 07 項 04 目 02 事業 004	整理番号	511	
現担当課名	生涯学習推進課	係名	管理係	連絡先電話番号	1665	昨年度整理番号	516
上位施策No・施策名	25 生涯にわたる学びの支援			予算事業区分	既定事業		
事業開始	令和 2年度						
令和 5年度担当課名	生涯学習推進課			事業評価区分	施設維持管理		

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	旧杉並第四小学校グラウンド利用者	根拠法令等	(1) 杉並区立施設再編整備計画 (2) 旧杉並第四小学校の団体開放に関する要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	グラウンドは、高円寺学園の補完機能として、部活動や同校に登録する学校開放少年団体の活動場所とする。次世代型科学教育の新たな拠点等が開設するまでの建物の取り扱いについては、原則として行政の使用に限り暫定活用を図る。	活動指標	
		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	
		指標説明	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	建物及びグラウンドの維持管理及び利用調整を行う。	成果指標	
		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	
		指標説明	

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1								90.4	
活動指標 (2)	2									
成果指標 (1)	3									
成果指標 (2)	4									
事業費	5 千円	26,266	30,566	27,276	21,976	19,865	25,764	特記事項		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	2,503	834	1,664	832	1,172	4,186	・イマジナスの開設により維持管理の範囲が減少したため、事業費が減となりました。	
	上記以外の職員	7 千円	735	735	736	736	761	1,142		
総事業費 (5+6+7)	8 千円	29,504	32,135	29,676	23,544	21,798	31,092			
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0		
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (8-12)	13 千円	29,504	32,135	29,676	23,544	21,798	31,092			

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 511

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	施設保守管理委託		1	所
	グラウンド調査等委託	1	所	693
	光熱水費の支出	1	所	3,763
	施設維持管理経費の支出	1	所	633
	その他 ()			
取組成果	<p>4月から9月までの改修工事期間中は、工事範囲外であるグラウンドの清掃業務等を行い、イマジナスが開設した10月以降は、併設する高円寺北子供園の設備保守点検等も加えた維持管理となりました。</p> <p>5月には、区立小学校での釘による事故の発生を受けて、安全確保に万全を期するため、専門業者によるグラウンド調査及び発見された釘等の除去作業を行いました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>イマジナスの開設以降は、グラウンド管理に加え併設する高円寺北子供園の設備保守点検等も含めて維持管理を行っており、これらの委託業務は予定通り執行しています。一方、光熱水費は当初の予定より使用量が抑えられており、支出額が減少する見込みです。このほか、老朽化した万年堀の取替やゲリラ豪雨による体育館への浸水を防ぐための止水板設置など、予定していた工事を着実に進めています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>本施設は複合施設であることから、イマジナス運営事業者や維持管理業者、高円寺北子供園と緊密に連携し、安心して利用できるよう、適切な維持管理に努めます。</p> <p>なお、イマジナスの維持管理はイマジナス運営事業者が行っています。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>関係者と緊密に連携するとともに、専門業者による適切な維持管理により、施設の安全安心に努めます。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00823)

事務事業名称	次世代型科学教育の新たな拠点等の整備				款	07	項	04	目	03	事業	007	整理番号	514	
現担当課名	生涯学習推進課		係名	管理係		連絡先電話番号	1665		昨年度整理番号	519					
上位施策No・施策名	25 生涯にわたる学びの支援								予算事業区分	投資事業					
事業開始	令和 2年度	実行計画事業	目標	07	施策	25	計画事業	02	主要事業（区政経営報告書掲載事業）						
令和 5年度担当課名	生涯学習推進課								事業評価区分	一般					

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	次世代型科学教育の新たな拠点等の利用者	根拠法令等 (1) (2)	杉並区区立施設再編整備計画
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	身近な事象から最先端に至るまで、幅広い科学の魅力に触れることができ、何度でも来館したいと思う参加型・体験型の科学のプログラムを企画し提供する「次世代型科学教育の新たな拠点」及び多目的に利用できる場 (集会機能) を旧杉並第四小学校の跡地に整備する。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	改修工事の進捗状況 工事竣工時100%とした場合の出来高の割合
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	建物の修繕や集会機能の改修を担う区と、科学の拠点の改修を担う運営事業者が連携して整備を進める。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 %	0	50	51	100	100	0	100.0	99.8
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	226,318	6,120	2,810	476,350	475,362	0	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	3,337	3,337	3,327	4,991	5,023	0	・工事費及び工事監理費は、令和5年度まで限度額415,000千円の債務負担を設定しています。 ・令和4年度は工事請負費の支出がありませんでしたが、令和5年度は工事完了に伴う支出があったため、事業費が増となりました。
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	229,655	9,457	6,137	481,341	480,385	0		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	18,048	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	18,048	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	229,655	9,457	6,137	481,341	462,337	0	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 514

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	改修工事費及び太陽光発電設備設置工事	1	所	459,028
	太陽光発電設備設置設計業務委託	1	所	2,442
	備品等購入			13,343
	修繕費の支出			490
	その他 (事務費等の支出)			59
取組成果	<p>区と運営事業者が連携して進めた改修工事は予定どおり進行し、令和5年10月に科学体験施設「IMAGINUS (イマジナス)」を開設しました。ガラス張りの明るいワークショップルームや看板などの内装改修工事は、民間事業者の創意工夫が生かされています。開設際には、広報すぎなみの特集記事やオープニングイベントの開催を通じて広く区民に周知したほか、開設後は定期的に情報誌を発行し、区民の利用を促しました。このほか、震災救援所としての機能向上と平常時の二酸化炭素排出抑制の観点から、太陽光発電設備及び蓄電池を新たに整備しました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>改修工事は、着実な進捗管理に努め、区及び運営事業者のいずれの工事も予定どおり完了することができました。</p> <p>科学の拠点は、日々進展する科学に触れ、いつ来ても新たな発見が得られる参加・体験の場とすることをコンセプトに整備を進めてきました。これを受けて、固定的な展示物の見学を中心とした従来型の科学館とは異なり、サイエンスショーやワークショップの開催などを中心に企画内容が随時更新されています。また、SNSを積極的に活用した広報や、企業や団体との連携など、民間事業者ならではのノウハウや創意工夫が生かされ、施設の魅力向上につながっています。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>区民を対象とした割引制度等については、料金設定や利便性の改善に向けて、引き続き運営事業者と協議を継続していく必要があります。</p> <p>このほか、集会機能については、区立施設と同等の利用料金等であるものの、利用率は低くなっています。イマジナスに集会機能が備わっていることを知らない方も多いと想定されるため、本施設の周知等を積極的に行っていく必要があります。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>令和5年9月 工事竣工・完成引き渡し 10月 内覧会、オープニングイベント開催、イマジナスオープン 令和6年2月 太陽光発電設備設置工事完了</p>
事業の方向性・改善策	<p>令和5年10月にイマジナスが開設し、翌年2月に太陽光発電設備の設置が完了したことから、令和5年度をもって本事業は終了となりました。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	その他・対象外
	II 事業の改善の方向性	対象外
予算の方向性の理由・内容	令和5年度をもって本事業は終了となりました。	